

☆ いわくに 市議会だより

第9号

2009年(平成21年)2月15日
発行 岩国市議会

〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14番51号
TEL (0827) 29-5190
FAX (0827) 21-1001
URL <http://www.iwakuni-shigikai.jp>
E-mail tegami@iwakuni-shigikai.jp

編集:岩国市議会だより編集委員会
印刷:フジ美術印刷株式会社



■ 楮祖神社(本郷町)

永禄8年(1565年)、中内右馬之丞は本郷波野の地で楮の栽培を始め、山代地方一帯は造紙業が大繁栄しました。右馬之丞没後、村人がその偉大な功績に感謝し、楮祖神社をつくり祀りました。楮祖神社は、全国的にもめずらしい紙の神様として信仰されています。

わがまち
名所めぐり

岩国市内各地の
名所旧跡を
シリーズで紹介します。



■ 臼田古墳(玖珂町)

臼田古墳は、古墳時代後期(6世紀)に築造された首長の墳墓で、横穴式石室墳です。石室を覆う封土は風雨により流失してほとんどが残存しませんが、石室は築造当時のままよく残っています。

(平成14年 玖珂町文化財指定)

主な内容

12月定例会のあらまし 2
一般質問 3~6

常任委員会審査報告 7
議会構成の紹介 8

平成20年

12月定例会のあらまし

12月定例会は、12月1日から24日までの24日間の日程で開催されました。

議会初日の本会議終了後には、全員協議会が開催され「米軍岩国基地に係る安心・安全対策」について、国からの回答に対する説明があり、各党派などによる質問が行われました。

定例会では、諸般の報告1件、人権擁護委員の推薦についての諮問2件、平成20年度岩国市一般会計補正予算及び平成20年度各特別会計補正予算、岩国市生活交通バス条例、岩国市平田梅が丘団地基金条例の一部を改正する条例など25議案について審議を行い、市長提案のすべての案件は可決されました。

議案のうち、平成20年度

岩国市一般会計補正予算については、主に人件費の調整及び事業費の確定見込みによる諸経費の調整によるもので、補正額は約6、600万円の減額となり、補正後の予算額は630億1、106万8、000円となりました。

岩国市伊藤進教育振興基金条例は、伊藤進氏からの寄附金1億円を原資に、小中学校の児童生徒の学力向上などの教育推進のための基金を設置するものです。また、岩国市下水道条例の一部を改正する条例は、尾津処理区の供用開始に伴い、旧市町村処理区ごとの設定であった下水道使用料金の額を統一することとなりました。

「周東食肉センター建設の

早期実現を求めることについて」の請願は、採択されました。

最終日には議員提出議案2議案が提出され、「地方自治法第180条第1項の規定による市長専決処分事項の一部改正について」は、全会一致で可決されましたが、「雇用対策、教育、福祉の充実強化を求める意見書」は、賛成少数で否決されました。

また、動議により提出されました「軽油価格の適正化を求める意見書」「西村幸博議員に対する辞職勧告決議」は全会一致で可決されました。

一般質問は、12月9日から12日の4日間、21名の議員により行われました。



12月定例会風景

行政運営

福田市長の政治姿勢は

現実的、かつ具体的な取り組みを行う

桑原 敏幸 (憲政クラブ)

問 就任して10力月の総括を含め、市長の考え方とこれからの行動について問う。

答 基地機能の変更については、十分な安心・安全対策が講じられると認められない場合には容認できない。また、米軍再編に係る空母艦載機の移駐等については、基本的にはその必要性を理解し、協力すべきであると認識している。

この基本方針に基づき、現実的かつ具体的な取組みを通して、国政と自治体行政との接点を見だし、地元の負担と協力に見合うだけの財政支援を獲得していく。

国との関係を構築する一方、市民の立場に立った現実的かつ具体的な取組みに独自の主体性を発揮する所存である。

行政評価制度の導入は

導入を視野に入れた調査・研究

石原 真 (清風クラブ)

問 厳しい財政状況の中で、市民に対し透明性のある行政を遂行するためにも、また公正公平な行政サービスの向上実現のためにも、それぞれの事業の必要性、成果などの行政評価を行い、まちづくり計画や予算等に反映させていくことが必要と考えるが、行政評価制度の導入はいかがか。

答 今日の行政を取り巻く環境はますます厳しさを増しており、限られた行政資源(人・物・金)を住民ニーズに合わせ、どのように適正に配分していくかが、今後の行政運営に欠くことのできない重要な視点であり、導入を視野に入れた調査・研究に取り組んで参りたい。

行政運営

分かりやすい予算説明書を

予算の概要版で工夫したい

姫野 敦子 (清風クラブ)

問 合併後丸3年が近づく。「夕張市になる、財政が破綻する」と市民が不安になる情報が多い中、市民の安心生活のためには財政をきちんと理解できる「分かりやすい予算説明書」が欠かせない。「セ」町や周南市のように市政運営の基礎となる財政情報を、もっと理解しやすい資料に工夫できないか。

答 市の財政状況や施策を市民に提供し、理解を得ることは市民との協調に欠かせない。予算書とともに予算の概要版を作成しており、市のホームページに掲載するとともに、1冊250円で販売もしている。今後、他自治体も参考にしながら市民にわかりやすい情報提供をはかりたい。



岩国空港イメージ図

民間空港

空港整備基本計画について

第3セクター設立し準備を

重岡 邦昭 (市民クラブ)

問 当初、事業費134億円を県と市が2対1の割合で出資をする。事業主体は決まっていない。1日東京便4往復、羽田空港新滑走路完成を見込んでの事、再開はH24年を目指すとの内容であった。私は県、市が事業主体となるのであれば反対と言ってきた。しかし今回の最終基本計画では、全体事業費約111億円の内、タ―ミナル建設費26億円を地元が出資することになっている。ついてはその理由を尋ねる。

答 タ―ミナル整備は、公益性の高さに着目して全国の殆どが第3セクターで整備・運営されていることから、岩国空港においても、平成21年度の第3セクター設立を目指し、その準備を進めている。

まちづくり

地区懇談会開催について

大変有意義であり、今後も開催する

片山 原 司 (政和会)

問 市民の声を直接聞くために、総合支所単位で地区懇談会を開催されましたが、市長の所感と多くの要望にどの様に対応されるのか尋ねます。

答 地域を代表される方々の生の声に直接耳を傾けることが出来、大変有意義であり、今後の市政運営に役立てたいと思っています。

また、懇談会では、合併特例債、補助金カット、公用バス貸出し、防災行政無線の整備等、多くの要望やご意見を頂きましたが、すぐ対応できるもの、また、しばらく検討を要するものもありましたので、実行できるものからしっかりと答を出していく、懇談会は今後も開催したいと思います。

岩国基地

玖西地域の安心・安全対策について
しっかりと、その確保に努めたい

藤 重 建 治 (政和会)

問 世界的に異常気象が注目される今日、市民の安心・安全を構築・確保する必要があるが、玖西(岩国西)地域における防災行政無線の整備予定を伺う。また、警察署の再編計画があるが、真に地域住民の生命・財産が守られる再編計画か伺う。

答 防災行政無線の整備については、10年計画で行う予定である。市内全域において、新設更新が急がれており、1年でも前倒して整備して参りたい。また、警察署再編整備計画については、その計画のなかで市民の生命・財産を守り、市民が安心・安全に暮らせる組織づくりを強く要望していく。

米軍電波と混信で、ミュージカル上演出来ず
電波のデジタル化や改善策、総務省に要請する

田 村 順 玄 (リベラル岩国)

問 「市民会館」や「シンフォニア岩国」ではこれまで、劇団四季のミュージカルが上演されたことがない。劇団側にも公演計画はあったが、条件が叶わず実現しなかった。原因は、30人余の出演者が使うワイヤレスマイクの電波が基地電波と混信する恐れで許可されないからだ。基地電波とは米兵と家族が見る米軍のテレビ放送。このために15万市民には我慢せよという理不尽な現実の改善を求めろ。

答 平成15年の市民芸術祭で劇団四季の公演を企画したが、ご指摘通りの理由で実施出来なかった。現在、総務省において、こうした問題の解決にもつなげる制度整備を行っており、その動向を注視している。

まちづくり

非正規雇用を改めよ
非正規率を維持したい

藤 本 博 司 (日本共産党市議団)

問 あいつく労働法制の改悪で、全労働者の中に占める非正規雇用労働者の比率が34%をこえました。

ところが岩国市でも官製ワーキングプアとも言われる非正規雇用が9月時点で職員2,165人中非正規職員727人と非正規比率が34%となっています。このような正規職員を減らして臨時・派遣・請負・嘱託職員に置き換えることには反対です。地方自治体が非正規化を進めてはいけません。非正規職員の労働条件、賃金の改定を求めます。

答 今後も事務の見直しを進め効率化を図るとともに労働条件の改善にも努めていきたいと思えます。

敬老会行事について
当分の間は現行通りとする

古 谷 清 子 (日本共産党市議団)

問 敬老会行事は、各地域で、色々な形で取り組まれている。合併協議の中で「3年以内の調整を目指す」という事であり、今年は予算が減額されたようだ。特に、周東、由宇では、対象者全員に何らかの記念品があった。しかし今年は欠席者には何もなかった。これに対して、元気で出席する人しか祝ってもらえない敬老会に異議の声が出ている。両町より要望書も出されている。特色を生かしたやり方ができるようにすべきと思うがいかがか。

答 合併により、統一的行なう方向であるが、当分の間は現行通りとし、地域の実情に応じて行う方針である。

市 職 員

1歳6か月、3歳児健診
玖西地域で1会場

藤 本 泰 也 (副政会)

問 周東町での健診は出来ないか。

答 周東町でもして欲しいという事だが、玖西地域で1会場と考えている。

19年度を見ると玖珂会場は65人程度の利用なので、従来の4回とはいかない。アンケートにはいろいろな意見がしっかりと盛り込まれていた。交通のアクセス等を考えれば、玖珂保健センター以外の場所、例えばキッズミュージアム等での開催が物理的に可能か検討してみたい。

開催回数については医療機関とも協議を要するため、すぐに回答はできない。

産婦人科の現状と取り組み
県内医療施設でなく広島県に拡大

井 上 昭 治 (公明党議員団)

問 出産できる医療施設が減少し、里帰り等市内で出産を希望してもできないと聞くが、現状はどのようになっているのか、また、市の取り組みはどのように考えているのか。

答 現在、産婦人科のある医療施設は市内に9箇所であり、そのうち出産ができる医療施設は、病院2箇所、診療所1箇所である。

また、助産所は、4箇所あり、出産の取り扱いが2箇所である。産婦人科医師の確保は、大変厳しい現状である。

市としては、広島県の22医療施設を拡大して産科医療の確保を図っていく。

高 齢 者 福 祉

子 育 て 支 援

子 育 て 支 援

生活環境

可燃ごみ処理の将来構想は 建て替えも視野に検討

河合 伸 治 (公明党議員団)

問 可燃ごみは合併後分別方法が統一され減量化が進んでいる。しかしながら、岩国市には第一工場と周陽環境整備組合の施設が存在しゴミの搬入手数料については2.5倍の格差が存在する。両施設とも老朽化も進んでおり、将来においては建て替えも検討しなければならぬ。そこで、可燃ごみの処理の将来構想を問う。

答 両施設とも老朽化に伴い維持費もかさんでいく傾向にある。周陽環境整備組合については、一部事務組合であり、岩国市単独での判断は難しいが、来年度基本構想を策定し、建て替えも視野に料金の統一も言え検討していく。

国民健康保険

国保滞納世帯の子への対応は 短期保険証を交付する

河本 千代子 (公明党議員団)

問 厚生労働省の調査では、国民健康保険の保険料を滞納し、資格証明書の交付などを受けた無保険世帯が、全国では約33万世帯、その中に中学生以下の子どもが約3万3千人いるとの結果を発表した。こうしたことを受けて、子どもへの緊急対応を行なうよう国から要請があったと思うが、短期保険証の交付について市の対応を伺う。

答 厚生労働省の緊急の対応を踏まえ、子どものいる世帯に短期保険証を交付するよう検討してきたが、最近、国において子どもだけに保険証が交付できるよう国民健康保険法の改正が協議されている。早い時点で短期保険証を交付する。

生活環境

浄化槽法定検査料金の引き下げを 安くするよう山口県に要望

山田 泰 之 (日本共産党市議員団)

問 浄化槽設置者の多くの皆さんは浄化槽の保守点検・清掃維持管理を業者に委託しています。毎年、山口県浄化槽協会岩国支部と保健所から法定検査(11条)を受けるよう文書で度重なる催促があり、わずかな検査時間で4,500円、市民からは高すぎるご不満の声があります。岩国市内での浄化槽の法定検査の実施状況と今後の検査料金の引下げを求めます。

答 法定検査の受検率は、低いとは予想していましたが、29.1%と予想外に低く、受検率を上げるためには、検査の簡素化、検査料金の値下げも一つの方策であると思います。県の所管事務であるので、山口県に伝えます。



愛宕山開発

愛宕山開発の終結へ向けて 国への買収取り交渉に臨みます

阿部 秀 樹 (市政クラブ)

問 愛宕山地域開発事業は、岩国医療センターの移転が決定しているものの、依然として土地利用のビジョンが市民に示されていません。来年3月から、事業費借入金償還が始まり、県と市で総額262億円と1日140万円の利息を支払う事となっています。米軍家族住宅も含め、国への売却について早期に交渉を行うべきであると思います。岩国市が抱える重要課題について、最後は市長の政治決断となります。市長の考えをお聞かせ下さい。

答 事業の赤字解消を最優先にして、市民に大きな負担をかけないように県と協力して、国への売却を前提に、粘り強く交渉を進めていきます。

林業振興

森林づくり条例の制定は 様々な施策を実施する

松本 久次 (政和会)

問 岩国市の総面積80%の森林も、近年の木材需要の低迷により、多くの森林が間伐などの手入れがされず、健全な森林を形成することが困難になってきている。豊かな水を育む災害に強い森林づくりを推進し、後世に引き継いでいかなければならない。

新たな森林づくり施策や、その財源確保など幅広い観点から、岩国市森林づくり条例の制定は出来ないか伺う。

答 「岩国市森林整備計画」を平成19年度に策定し、健全な森林資源の維持造成を推進している。また、やまぐち森林づくり県民税の活用など、様々な施策を実施している。

学校給食

問 食材の高騰が学校給食に与える影響についての調査結果と今後の対策は。また、国の緊急対策として保護者負担軽減措置をとった場合には特別交付税を支給する。岩国市も一般財源から支援するよう求める。

答 昨年度の価格に比べ学校給食会から購入する食材は22.1%、市内8校では16.9%程度価格が上昇。これまで安い食材の調達やデザートなどの回数を減らすなど献立を工夫してきたが、工夫だけでは安心でおいしい給食を提供することは困難であり、約13%、1食当たり30円の給食費の値上げが必要である。また、給食費改定額の負担のあり方について、公費負担も含め検討していく。

大西 明子 (日本共産党市議員)

学校給食値上げ抑制対策について
一般財源からの支援も含め検討

学校教育

問 児童生徒に自衛隊に対する理解を深めるため、台風14号の災害派遣活動や地元の海上自衛隊の救難飛行艇部隊の活動などを小学校の社会科の副読本に掲載したり、あるいは職業講話の講師の一人としてお願いするなど、学校教育の中で自衛隊活動の周知を行う必要があると考えるが、当局の見解は。

答 副読本については掲載するよう検討している。社会科や公民の教科書にも自衛隊の活動は取り上げられており、また岩国市の中学校では、キャリア教育の一環として、職業講話で現役の自衛官に来て頂いている学校もあるなど、今後も学校教育の中で自衛隊の活動の周知と理解の推進を図る。

石本 崇 (政和会)

児童に自衛隊の活動の周知を
学校教育の中で推進する

青少年育成

問 環境美化、青少年健全育成の観点から「路上喫煙禁止条例」の制定と携帯電話の有害サイトから子どもを守るため「閲覧制限(フィルタリング)機能」を義務付ける条例「の制定を提言しました。

答 市長は、たばこのポイ捨てなどをなくすため、市内全体の「路上喫煙禁止条例」制定を前向きに検討します。そして閲覧制限(フィルタリング)は子どもたちのために、市独自に迅速に動くのが地方自治体の重要な責務であり、教育委員会と連携して対応していきます。

教育長は早急に「閲覧制限(フィルタリング)機能を義務付ける条例」制定を前向きに検討していきます。

味村 憲征 (憲政クラブ)

禁煙美化・有害サイト条例を
条例制定を前向きに検討します

教育環境

問 学校運動場の芝生化は環境教育の生きた教材としてまた環境保全上、砂埃飛散の防止・夏場の照り返しや気温上昇の防止など効果が期待できる。さらにスポーツ活動の安全性や緑豊かな校庭は子どもたちの心身に癒し効果をもたらししてくれる。最近多くの学校で鳥取方式による安価にできる芝生化が進んでいるが導入できないか。

答 学校運動場の芝生化は、運動場の管理など児童生徒の社会性を育む一貫として非常に有効な教育ではあるが、学校保護者、地域の方々のご理解とご協力をいただきながら、地域と一体となって取り組むことが重要であり、将来の学校施設整備面もふまえ、今後とも検討していく。

越澤 二代 (公明党議員団)

学校の運動場を芝生化に
学校施設整備も踏まえ検討

議員は、選挙区内では公職選挙法により、多くのことが禁止されています。

- ◇ 年賀状やあいさつ状などの禁止 (ただし、自筆の返礼は禁止されていません。)
- ◇ 議員の寄附の禁止、また有権者が議員に寄附を要求することも禁止
- ◇ 葬儀の香典や結婚披露宴における祝儀などの禁止 (ただし、本人が出席したときは除きます。)



など

市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。

山口国体

問 地元山口国体開催まであと3年弱となった。開催間近であるにもかかわらず、国体の地元開催を盛り上げる雰囲気を感じられない。スポーツ活動の普及・発展や競技力の向上はもちろん、特に観光地でもある岩国市が盛り上がることで、大会の誘致や合宿、個人や家族での旅行など、その経済効果は計り知れないものがある。国体までの準備スケジュールと市内開催地域の活動や盛り上げの状況について聞く。

答 準備委員会から実行委員会に移行し、本格的な準備に入った。具体的には、国体推奨花の苗の配布や啓発用看板の設置を予定している。おもてなしの心で温かく迎えたい。

野口 進 (市民クラブ)

国民体育大会に向けて
市全体で取り組む必要がある

12月定例会 常任委員会審査報告



経済常任委員会

委員長 野口 進

平成20年度一般会計補正予算のうち当委員会所管分の他、5議案は慎重審査の結果、原案妥当と認め可決しました。

一般会計補正予算の審査において委員中から、中心市街地活性化対策事業に関して質疑があり、当局から現在、基本計画を策定している段階であるが、国土交通省から補助を受けて行う「エコまちづくり事業」を活用した岩国駅周辺の整備事業を主要事業としたいとの答弁がありました。

次に、岩国市乗合自動車等使用料条例の一部を改正する条例の審査において、新条例を施行する平成21年2月1日以降、高速バス運賃が片道100円上がることになるが、定期券購入者にはどのような対応を考えているのかとの質疑があり、当局から、新条例施行前に購入した通勤定期券は、新条例施行後であっても表示期間内は有効である。また、通学定期券は割引率を引き上げる考えで、逆に安くなるため、差額は払い戻しする予定であるとの答弁がありました。

教育民生常任委員会

委員長 大西 明子

平成20年度一般会計補正予算の当委員会所管分は慎重審査の結果、可決しました。5件の特別会計補正予算及び岩国市伊藤進教育振興基金条例をはじめ、4件の条例を可決しました。請願第7号周東食肉センター建設の早期実現を求めることについては趣旨妥当と認め採択しました。

一般会計補正予算の審査において、委員から今回で3回目となる錦帯橋ロードレース大会への新規補助金として150万円が計上されたことの必要性について質疑があり、当局から合併前は市民ロードレースやチームレースとして市の主催で開催してきた。合併後

は錦帯橋ロードレース大会として実行委員会方式に改め、市と教育委員会は共催という形で実施している。ランナーは遠くは青森県や宮崎県など全国各地から1,800人もの参加があり、大イベントとして盛り上がりつつある。錦帯橋の世界遺産登録を目指していることもあり、全国にアピールする機会にしたいとの答弁がありました。

建設常任委員会

委員長 縄田 忠雄

平成20年度岩国市一般会計補正予算の所管分及び5議案について、原案妥当と認め可決しました。

平成20年度岩国市水道事業会計補正予算の審査において、委員中から、今年度は水道局職員の約1割が退職すると聞か、今後の人材育成と補充はどのように考えているかとの質疑があり、当局から、中心的な部門を担ってきた職員が定年となるため、若干の不安はあるが、従来から、各分野で人材を育成しており、退職者の補充はある程度必要であるが、組織機構の見直し等を検討し、効率的な運営に努めたいとの答弁がありました。本議案は全会一致で可決しました。

次に、岩国市下水道条例の一部を改正する条例及び岩国市小規模下水道

討論において、料金の統一は必要と思うが、一部の地域で値上げとなるため、大変な不況の今の時期の統一は反対との意見があり、採決した結果、賛成多数で可決しました。

総務常任委員会

委員長 越澤 二代

委員会では、平成20年度一般会計補正予算のうち委員会所管分ならびに岩国市生活交通バス条例ほか5議案について可決すべきものと決しました。

議案審査の中で、旧市庁舎他解体工事請負契約の一部変更について、委員中から工期によって入札価格は、変わってくる場合も考えられるので、工期の延長は安易にすべきではないのではないかとの質疑があり、当局からこのたびの工期の延長については、台風13号の影響により大型解体機械の他地域での解体工事に遅れが生じ、岩国への搬入が遅れたこと、また柱部分の解体作業を開始後、周辺の梁の崩壊が見られ市民への安全の確保のため、より慎重な作業を余儀なくされ約2か月の工期延長が必要になったものであるとの答弁がありました。工期延長による市民への影響や対応策について質疑があり、駐車場の完成に遅れが懸念されるが、早期完成に全力をあげて取り組むとの答弁がありました。

■ 議会構成の紹介 ■

議長	高田 和博				副議長	藤井 哲史
委員会名	常任委員会				議会運営委員会	
	総務	教育民生	経済	建設		
委員長	越澤 二代	大西 明子	野口 進	縄田 忠雄	田村 順玄	
副委員長	片山 原司	河合 伸治	山田 泰之	河本 千代子	石原 真	
委員	桑原 敏幸	味村 憲征	井上 昭治	高田 和博	味村 憲征	
	藤井 哲史	阿部 秀樹	貴船 齊	田村 順玄	阿部 秀樹	
	藤本 博司	石原 真	林 雅之	中塚 一廣	石本 崇	
	細見 正行	石本 崇	姫野 敦子	西村 幸博	井上 昭治	
	松本 久次	重岡 邦昭	藤 重建治	古谷 清子	大西 明子	
	宗正 久明	武田 正之	前野 弘明	村中 洋	片山 原司	
	渡 吉弘	藤本 泰也			貴船 齊	
				渡 吉弘		

岩国市議会ホームページ

市議会ホームページでは、定例会のお知らせ、各議員の紹介、議会構成など市議会の情報を掲載しています。

また、会議録検索システムも導入していますので、会議録データの中から必要な情報、必要な箇所を検索することができます。

どうぞご利用ください。



☆ホームページのURLは <http://www.iwakuni-shigikai.jp> です。



■委員長 河本千代子
 ■副委員長 藤重 建治
 ■委員 石原 真
 貴船 齊
 桑原 敏幸
 田村 順玄
 野口 進
 細見 正行
 山田 泰之

新しい年を迎え、合併後3年が過ぎようとしている岩国市ですが、その一体感については残念ながらもまだ実感できる段階にまで至っていないのが現状です。

「議会だより」では市民の皆様には議会の情報を発信するとともに毎号、表紙に市内各地域の名所等の写真を掲載し、紹介しています。編集委員が良い写真を撮るためにその都度各地に足を運んでいます。広大な面積の市内各地域を知るための一助になればとの思いで掲載しており、今後も続けたいと考えています。ご意見ご要望をお寄せ下さい。

編集後記